



2015~2016年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

# やらまいか

会長/小野喜明 幹事/度会尚志 会報委員会/廣田 篤・中村嘉輝 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所

クラブテーマ 30周年記念事業を通じて、温故知新、上下一心  
30周年記念事業を通じて、地域や国際にお返ししよう  
30周年記念事業を通じて、友情と寛容を深めよう

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第20回 通算1412回 平成27年12月8日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	11/24修正出席率
		61名	34名	60.7%	96.2%

ゲスト:(なし) ビジター:(なし)

## ★会長あいさつ

### 小野喜明会長



本日は報告が2つあります。まず一つ目は2016-17年度の地区ガバナーは岡崎RCの服部良男会員ですが、

東三河分区のガバナー補佐はご存じの高桑パスト会長、ガバナー補佐幹事柴田浩志会員、ガバナー補佐副幹事に伊藤正幸会員が決まりました。2つ目は30周年記念式典の日に伴会員から多額の寄付を頂いております。この使い方については理事会で検討しております。

ロータリークラブ発祥の時のエピソードから、ロータリーとは何かということを考えてみたいと思います。

ロータリークラブはポール・ハリスが3人の友人と作った職業人クラブでした。1905年2月23日、第2回目3月9日までに参加したのが6名、第3回目3月23日までに参加したのが9名だったといえます。その時まで役員もなく、名称もなかったとのことで、会員資格について話し合われました。それは4回連続して欠席したら会員資格をはく奪するものという、現在まで続いている重要なルールが決められました。また名称についてもラウンドテーブルクラブとか、シカゴクラブとかシカゴフェローシップ等の名前もあがりましたが、役員も例会会場も持回るので輪番を表すロータリーという名前にしたとのことです。

職場を例会会場にするという発想は、第6回目におきたある会員の遅刻理由が食事であったことから、食事を共にしようということになりました。1年間はレストラン持回りということになりました。メイクアップ制度が出来るとレストランも1か所に定着せざるえなくなりました。

ロータリーは職業人が1業1会員の原則の中、お互いの職業上のことを話すことで信頼関係を造成し、親睦を図るものというのが、初期の発想です。その時には奉仕ということがなかったというのは、興味深いと思います。親睦により会員相互が助け合うことが中心だったロータリーが奉仕の概念を導入するにはあるエピソードが会発足1年後キッカケとなりました。

そのことは、また後日お話しするとして、今日豊川宝飯ロータリークラブでも親睦が大切とよく言われるのは、ロータリークラブ発祥時代からの根本的な精神でありますので、本当に大切であると思います。当初、同業者が一人も居ないロータリークラブでは、会員同士が助け合い、物を買うときには会員から買うこと、会員は親戚と同じであるから利益をつけず原価で取引をすること。またその取引を記録を取ることのためのクラブの役職も作ったとのことです。要するにロータリーを通じてお互いの利益になることをしようという発想があったということです。しかしこれは職業奉仕といえるものではなく、クラブ会員の優待制度のようなものと理解できるでしょう。しかし、それから奉仕の概念が入り、職業奉仕を行うことも大切だとなっていくわけです。

## ★幹事報告

## 度会尚志幹事

例会臨時変更のお知らせ  
創立記念日例会の出欠について  
はつもうで例会の出欠について  
職場見学例会の出欠について  
豊川高校への駅伝応援金贈呈について  
米山奨学クラブの表彰について

## ★委員会報告

職業奉仕委員会（大木委員長）  
1月12日職場見学例会について

## ★新入会員スピーチ

### 廣田 篤会員



こんにちは。卓話の時間を頂きましてテーマを何にしようかと考え、私の身近にある野球だと思い「私と野球」

についてお話をさせていただきます。

私の今までの人生で、野球は常に身近なものです。常にボールとバットを持って遊びまわっていました。小学生の頃に、いろんな遊びの中で、特にやっていたのが野球でした。学校から帰り、友だちや年上のお兄さんたちと小さな公園で野球をしたり、公園が空いてないと稲刈りの済んだ田んぼでやったり、神社の境内など、常に野球をしていました。一人でいる時は、壁にボールをあてていました。2人以上いれば直ぐに試合でした。野球のルールは、お兄さんたちに教えてもらいました。

中学生になり、中学の部活動で野球をしました。今ではクラブチームが当たり前ですが、当時は無かったので、学校の部活動で野球をやりました。小学生時代からやっていた仲間も一緒に野球部に入り、同じユニフォームに袖を通しました。毎日、野球の練習が出来るのがとても楽しみでした。野球部の顧問が、慶應義塾大学野球部OBの方だったので、きっちりとした野球を教えて頂きました。

中学3年生になって進学の話になり、自分は公立高校に進学をするつもりでしたが、顧問の強い勧めもあり、豊川高校へ入学をしました。高校時代は、1年生の夏まで本当に嫌

な思い出ばかりでした。キツイ練習、上級生の威圧感です。野球をするために、この高校に来たのに、楽しく出来ることはありませんでした。当時の新入部員1年生60人入りました。夏の大会に負けて3年生が引退して新チームとなる頃には、1年生は12人になっていました。当時、先輩には絶対に服従と言う空気があり、グラウンドの中では上級生に目を付けられないようにと変な緊張感が常にありました。上級生たちが帰った後、部室の掃除や道具の片付けをするのですが、緊張感から解放され、同級生とワイワイできる時間でした。今でも思い出があります。

グラウンドで誰かが上級生に目を付けられると、それが1年生全員の連帯責任とされて、上級生からキツイお仕置きがありました。それがあり、同級生との連帯感が生まれ、協調性が出来て行ったと思います。この話を人にすると、そんなに辛かったのに、なぜやめなかったのか？と聞かれることがあります。当日、私にやめるという選択肢はありませんでした。親にも練習がキツイとか、先輩からされていることなど話をしませんでした。ただ野球が好きだったこと、人に負けたくない気持ちがあったことだと思います。

甲子園出場を目指して、練習に明け暮れた高校生活でした。甲子園出場は叶いませんでした。しかし、東京で行われた別の大会である明治神宮野球大会には出場することが出来ました。当時のメンバーには、後にドラフトでヤクルト3位のギャオス内藤、日本ハム球団職員を経てプロ入りした白井、（白井の2歳上の兄が、阪急ブレーブス1位の白井です。）豊川RCの安田守一さんが残った12名のメンバーの人たちです。

その後、大学進学はしませんでした。こんな高校の練習を、また大学で繰り返すのは嫌だと思い、大学へ進む気はしませんでした。社会人で野球をしようと思って、大沢さんのOSGで社会人野球を経験しました。

現在は、中学生を相手に硬式野球チームで指導をしています。チームは創部9年のクラブチームで、豊川市御津町を拠点に活動をしています。ここ数年チームを卒団した子ども達が、高校生になって甲子園出場をしています。静岡県の常葉菊川高校、地元の豊川高校、豊橋工業高校、名古屋の東邦高校です。野球は自分一人では出来ません、甲子園出場は果たした子ども達は、レギュラーで試合に出て

います。本当に素晴らしいことだと思います。東邦高校は、今度の春の選抜に出場する予定で、今注目の藤嶋をはじめとする4名の卒団した子ども達がベンチ入りすると聞いています。期待しています。

少年野球の指導者として、野球を通じて色んなことを子ども達に伝えています。勝負事なので、勝つために必要なバッティング、守備、走塁、基本動作を指導しますが、一番大切な事は、礼儀、物事の捉え方、相手に対する行為や配慮、気遣い、感謝の気持ちです。あくまでも野球を一つの手段としてとらえ、野球を通じて子ども達に伝えています。彼達は、小学生から中学生となり、まだまだ幼稚さもあります。2年生、3年生ともなると異性を気にするようになっていたり、反抗期を迎えたりと本当に難しい年代ではあります。私は、そんな彼達と向き合い、時には厳しく、無邪気さや野球の楽しさを忘れさせないように、今後も接して行きたいと思います。

最後に、私自身大した人間ではありません。しかし、私も野球を通じて色んなことを学びました。今では、子ども達から学ぶこともあります。将来、この子ども達が皆様の企業で、お世話になるかもしれません。当然、私の企業もそうです。そんな日を想像しながら、立派に大人、立派な社会人として活躍できるような人間形成を作り上げていく、そんな一役を今後もしていきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

### 中西弘徳会員



こんにちは。7月7日に入会をさせて頂きました。職業は、建築の塗装及び防水工事をやっております。今から13年ほど前

の2002年12月に独立して開業しました。

今日は、自己紹介を兼ねた今までの経歴を話します。平成5年に豊川高校を卒業しました。私の実家はサラリーマンの家庭で、建築関係の会社に18歳から28歳まで勤めました。その時に、自分と勤めている会社の社長と何が違うのか、仕事を覚えていく中で日々考えていました。精一杯頑張っている仕事ならば、自分も独り立ちできるのではないかと

と若さと勢いで13年ほど前に会社を興しました。良い時もありましたし、悪い時もありました。2008年に個人事業から法人にさせて頂き現在に至ります。

趣味は、サーフィンとゴルフです。ゴルフは10年程前から真剣にやり始めました。ゴルフをやることも好きですが、道具を買う事が好きなんだと思っています。始めた当初は、年に2回3回クラブを買い替えていました。子どもの頃から、道具のコレクションと言うか、新しく買ってモチベーションを上げていくといった感じでした。ゴルフもそんな感じで10年続けています。サーフィンは、去年始めました。波に乗っている時間も楽しい訳ですが、波を待っている間に遠くを眺めている時間が、何も考えず無になれるので、楽しくやっています。

プライベートでは、一昨年に結婚をしました。それまではゴルフ以外では、みんなで集まってお酒を飲む感じでした。この年に結婚をしますと、ほとんど夜も出掛けず、家でご飯を食べる生活をしています。相手は、中学生のクラスメイトで、15年ぶりに再会する機会があり、互いに独身だったことや自分が中学生の時に初めて交際した相手でもあったことから結婚をしました。今は、大人になってから付き合いだした19歳の息子がいます。自分の息子としてみると可愛いし、歯がゆい感じではあります。

日頃から、物事には一生懸命に取り組もうと思って生きている人間であります。今後ともよろしくお願ひします。

### ★ニコニコボックス

岩瀬 保会員	30周年で記念品を頂き
大岩一仁会員	〃
波多野四郎会員	〃
近藤哲司会員	〃
内藤泰通会員	〃
滝下 勲会員	誕生日を祝って頂き
中村嘉輝会員	〃
伊藤正幸会員	結婚記念日を祝って頂き
大沢茂樹会員	入会記念日を祝って頂き
伴 辰三会員	〃
波多野四郎会員	〃
柴田 勝会員	〃

会報担当：廣田 篤会員・中村嘉輝会員